

どうも大変、まわりが明るいが、
真昼の感じが僕にはない。

もう夕方と思っても不思議ではない気分。

朝二時起き、こうもり生活一歩手前じゃ、
昼も、凡人の昼とは感じが変わるんだろう。

家にこのまま帰るのは面白くない。

そこで、どこかへ行こうと思った。

まず、近くがいいだろうと、いろいろ考えた。

「そうだ、健ちゃんとこ行こう。

もう、だいぶ会ってへんから。

さあ、今日は日曜日や、いるかなあ。」

市電に乗ろうとしたが、
考えてみると、朝、お金もらっていない。

「ああ、十五円あったらなあ。」と、思えど、
どうしようもない。
と、言っても今日行かないと、また、長い間、
会えないだろう。

こんな時、今、家にお金ないのが、しみじみ、
つらく感じる。

「仕方ない、足(あ)クシーでガマンや。」

と、延々と、四キロある道を、
北大路通り、大徳寺まで、テクテク歩く。

女って、鋭いなあ